

JR
総連

闘争本部情報

第11号

全日本鉄道労働組合総連合会 <http://www.jr-souren.com/>松崎明氏の名誉毀損裁判で記者会見
多くのメディアが注目

松崎明氏の名誉毀損裁判提訴に当たって、10月19日午後1時から司法記者クラブで担当弁護士による記者会見が行われ、TVカメラを含め、27人が参加しました。

訴状の概要説明の後、矢澤昇次弁護士（専修大学教授）が「西岡記者はペンを間違っている。情けないことだ。高貴な存在であるはずのメディアが自らを貶める行為だ」とマスメディアの問題性について強く訴えました。

記者との一問一答では、「新聞記者でも松崎さんと聞いて『勾留されている方ですよ』と言った人がいたが、それほどに悪者扱いされている」「浦和電車区事件の7人の被告が無罪を求めて争っているのに、これを犯罪者として描いている。ジャーナリストは正確な報道をしてほしい」と弁護士から記者にたいして強い要望が述べられました。

また、「業務上横領」容疑のデタラメさを暴く取引明細表のコピーが弁護士から示され、記者たちは、競って食い入るように松崎氏からの入金を示す記録を見ていました。

その後、2時から弁護士会館でも会見が開かれ、こちらには雑誌社などから13人が参加しました。

矢澤弁護士は「被告側にとって真实性の実証は困難を極めるでしょう」と述べ、前田知克弁護士は「JR東日本もこれだけひどく書かれているのですから、会社が問題にしても当然でしょう」と語りました。

参加した記者からは、「テロリストと呼ばれるということは、容易なことではないですね」「JR連合が大量に『週刊現代』を買ってばら撒いており、大変なお金もかかっているようですが、これにたいしては何か考えていますか」といった意見や質問も出されました。

なお、『週刊現代』の記者も会場に現れたが、結局一言も発せず帰って行きました。

『週刊現代』の「テロリスト」キャンペーンのデタラメさを法廷で暴く闘いが、いよいよ本格的に開始されます。

訴 状

2006年10月19日

東京地方裁判所民事部 御中

原告訴訟代理人

弁護士 前 田 知 克

同 後 藤 昌 次 郎

同 矢 澤 昇 治

同 矢 可 部 一 甫

同 渡 辺 千 吉

当事者の表示 別紙当事者目録記載のとおり

損害賠償等請求事件

訴訟物の価額 金2億3182万888円

貼用印紙額 金71万6,000円

予納郵便 金8,480円

1